

社団法人私立大学情報教育協会
平成28年度 第2回産学連携推進プロジェクト委員会議事概要

I. 日 時：平成28年10月21日（金）10：00～12：00

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、白崎委員、松本委員、斎藤アドバイザー、
青木アドバイザー、吉永アドバイザー、宮脇アドバイザー、木村アドバイザー（代）、中塚アドバイザー、
岸アドバイザー（代）、井端事務局長、森下、中村

IV. 資 料

1. 平成28年度「社会スタディ」開催要項（案）
2. 平成26・27年度「社会スタディ」参加者アンケート集計結果
3. 平成28年度産学連人材ニーズ交流会開催要項検討（案）
参考1 大阪大学 シンポジウム資料（理事・副学長 小林 傳司 氏）
参考2 オープン化が進む時代の価値創造と知の役割（大阪大学シンポジウム資料）
参考3 オープン化が進む時代の価値創造と知の役割（大阪大学シンポジウム資料）
参考4 慶應義塾大学 イノベーションを育てる（新聞記事）

V. 検討内容

1. 平成28年度「社会スタディ」開催要項（案）について

前回委員会を踏まえて、過去の参加者（平成26・27年度）にアンケートを実施した結果、対象となった101名の内17名から回答があったことが報告された。

アンケートでは、期待通り、ほぼ期待通りが80%強であり参加者の評価は高いことが確認されたが、運営面では「有識者の話題提供と意見交換の時間が短い」、「気づきの整理（グループ討議）の時間が短い」等の意見があった。

このことを踏まえた、本年度は有識者を3名にし、「有識者の話題提供と意見交換の時間」、「気づきの整理（グループ討議）の時間」を拡大し、終了時間を17：00とすることにした。

また、学生への募集案内に向けた「募集パンフレット」を作成、QRコードを付けて検索を容易にすることにして開催要項（案）を確定した。

2. 産学連携人材ニーズ交流会の開催方針について

(1) 主な検討事項

① 本年度のテーマ

本年度は、「第4次産業革命とも呼ぶべきIoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、ロボットなどの技術革新」の急激な社会の変化に対応できる大学教育の改善を目指して、さまざまな領域から多様な情報や考えを組み合わせ、新しい視点を提案して挑戦し行動できる実践的な力の育成に向けた産学連携による分野横断型の教育を考える場にしたいことが確認された。。

② 有識者からの情報提供について

有識者として、「経済産業省 課長 井上 博雄 氏」、「慶應義塾大学 教授 徳田 英幸 氏」に協力を要請したが、どちらも日程上都合がつかず参考資料1～4をもとに新たな有識者を依頼することにした。

③ 新たな候補者

③1. (仮)「これからの大学に求められる可能性」 大阪大学 理事・副学長 小林 傳司 氏
社会の価値や人々が何を求めているのかを戦略として考えられる能力を持った人材の育成が非常に重要であること。専門を越えて多様なアクターと交流し、または接点をつくる。境界線を引きなおすことでオープンなイノベーションに寄与できる人材が求められることを大阪大学の取

組みを通じてお話しいただく。

③ 2. (仮)「新しい価値創造のための多分野、異分野のオープンなコラボレーション」

パナソニック (株) 先端研究本部 主幹研究員 西村 佳壽子 氏

新しい価値創造にチャレンジするには、技術や知識を研ぎ澄ますだけでは限界があり、知の統合や外部の専門家とのコラボレーションの能力が求められる。そのためには、大学においても専門性を生かした上で多分野、異分野の人々とオープンなコラボレーションで新しい知識を一緒につくり出すことを経験させる教育が必要になることをお話しいただく。

③ 3. (仮)「次世代イノベーションへに向けたオープンな知の交流と価値創造」

サントリービジネスエキスパート (株) 品質保証本部 課長 上新原 十和 氏

今の研究スタイルのまま10年、20年後に新しい価値が想像できるかに危機感があること。自分の専門領域で一生懸命研究したら新しい価値創造ができる時代ではないこと。大学教育でも外に出て領域の違う人と一緒に課題を解決する体験が必要であり、その結果が成果に結びつくことをお話しいただく。

③ 4. 分野の枠を越えた知のイノベーション教育への取組み

慶應義塾大学 環境情報学部 徳田先生から新しい候補者を紹介いただく。

複雑化し、不確実性の高い現代社会においては、新しい状況を的確に理解し、最適な状況を作り出すための技術や制度、組織の設計ができる人材の育成に向けて、学生が自らの専攻分野を創って行く文理融合の学びについて慶應義塾大学の取組をご紹介いただく。

④ 課題提起

様々な領域でICTを活用してイノベーションに関与できる学修の仕組み、教育内容・方法を産学連携で考えるため、「構想力及び実践力を目指した分野横断によるオープンイノベーション型のPBL授業のモデル」について「情報教育研究委員会 情報専門教育分科会」から提案することにした。

⑤ 全体討議

「情報提供」及び「課題提起」を踏まえて、情報系人材教育の方向性を確認し、その上で教育モデルの具体策について意見交換し、産学連携による分野横断型の教育改善を考察することにした。

⑤ 開催日時は、平成29年3月1日(水)～3日(金)を候補に調整し、次回委員会にて決定する。

3. 大学教員の企業現場研修の開催方針について

平成28年度「大学教員の企業現場研修」については協力各社と開催内容を検討し、次回委員会で報告することにした。

2. 次回の日程について

次回は平成28年11月15日(火)18:00～20:00とした。

※ その後再調整し12月19日(月)10:00～12:00に変更